

のがみ公民館たより

発行：2026（令和 8）年 10 月、野上公民館

今回は「エイジズム（ageism）」という言葉をピックアップします。年齢（age）で印象を決めつけることは、案外耳にします。高齢者だけでなく、若い人への決めつけも含まれます。たとえば、年齢だけで能力や性格を判断し、機会を狭める考え方です。

場面	事例
採用	年齢で応募を断る
日常会話	いい年をしてと言う
高齢者に対して	無理だと決めつける
若者に対して	経験など浅い・未熟

こうした扱いは、本人の経験や能力を見ずに、年齢のイメージで判断してしまう点が問題です。

「エイジズム」は 1969 年に提唱された概念で、日本では年齢差別として説明されることが多いですが、最近は、高齢者への偏見だけでなく、あらゆる年代への固定観念として広く捉えられています。

エイジズムとハラスメントの違いは？

年齢の話に見えても、どこが問題なのかで言葉が変わります。

エイジズムは、年齢を理由にした偏見や差別そのものです。

ハラスメントは、相手を傷つけたり就業環境を悪くしたりする言動です。

例えば

	エイジズム	ハラスメント
問題の形	年齢による決めつけ	迷惑や害のある言動
態様	偏見や差別	嫌がらせや圧力
具体例	年齢で不採用	繰り返しの侮辱

厚生労働省は、募集や採用で年齢を理由に応募を断ることや、採否を年齢で判断することは法の規定に反すると案内しています。これはエイジズムに近い考えです。

一方で、職場のハラスメントは、たとえばパワーハラスメントのように、優越的な関係を背景にした言動で、必要な範囲を超え、就業環境を害するものとして整理されます。

重なるケース

年齢を理由にしたハラスメントは、両方に当たることがあります。

たとえば、もう年だから新しいことは無理だと決めつけて研修対象から外す行為は、

年齢による不当な扱いに近いです。
　反対に、若いのだから休まず動けるはずだとして無理な仕事を集中させる行為も、年齢を理由にしたハラスメントになりえます。
　海外でも、年齢に関するハラスメントは差別の一形態として扱われる考え方があります。

　エイジズムは考え方や扱いの問題で、ハラスメントは実際の言動の問題です。
　その表現がエイジズムか迷ったら、年齢を外しても同じ判断をするかで考えると分かりやすいです。年齢だけを理由に評価や扱いを変えているなら、エイジズムの可能性が高いです。

　年齢を口実にした言動は、冗談のつもりでも相手には強い負担になりかねないですよね。「もう年だから」とか「若いのに」など、振り返ってみると思い当たることがいくつか出てきます。
　無意識のうちに使っている言葉。
　アンコンシャスバイアス（無意識の偏見、思い込み）に通じていますね。

※今月から、字体（フォント）を変えてみました。少し見やすくなったかなと思っています。読んでるよと声を掛けていただき、うれしくもあり、さて、次の記事を何にしようかと思案しています。

１１月８日（日曜日）は、野上ふれあい交流センター
（野上公民館）で、のがみ文化祭が開催されます。
たくさんの展示や発表、バザーコーナーなど、楽しみ満載です。
ぜひご来場ください。午前１０時開会です。

